

261009 中部、近畿地区の大地震の可能性について

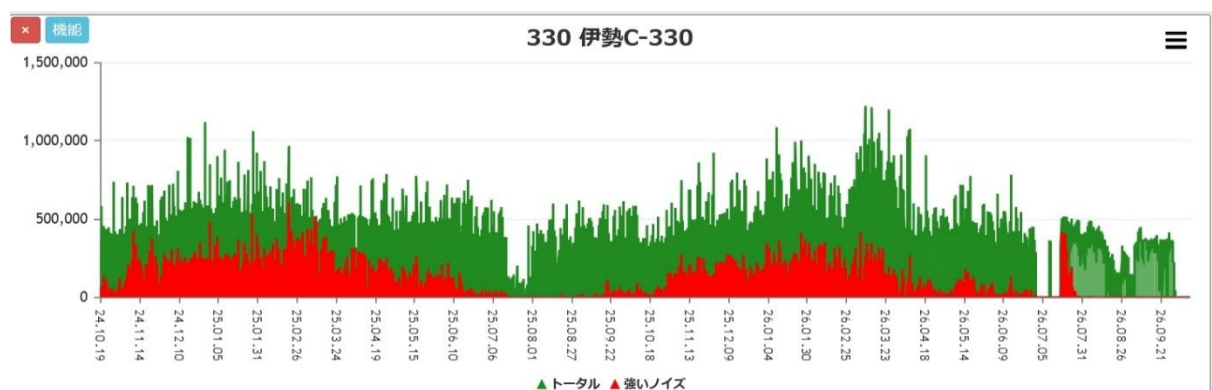
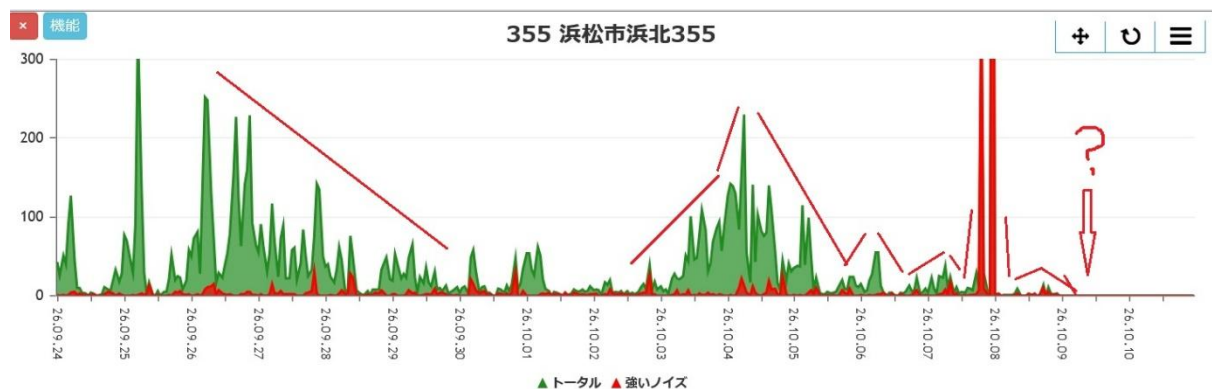
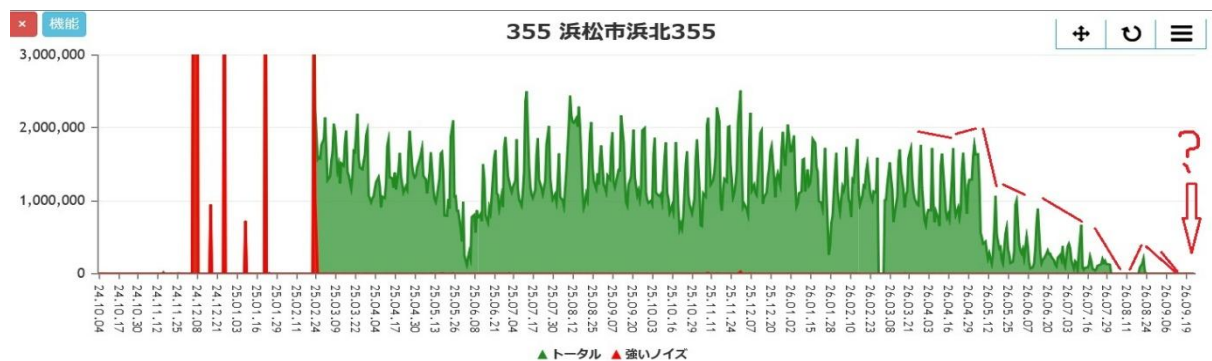


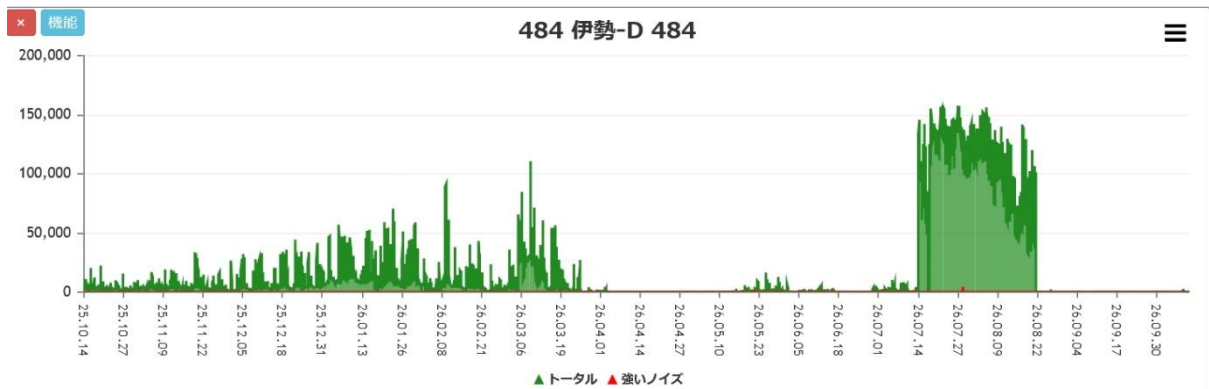
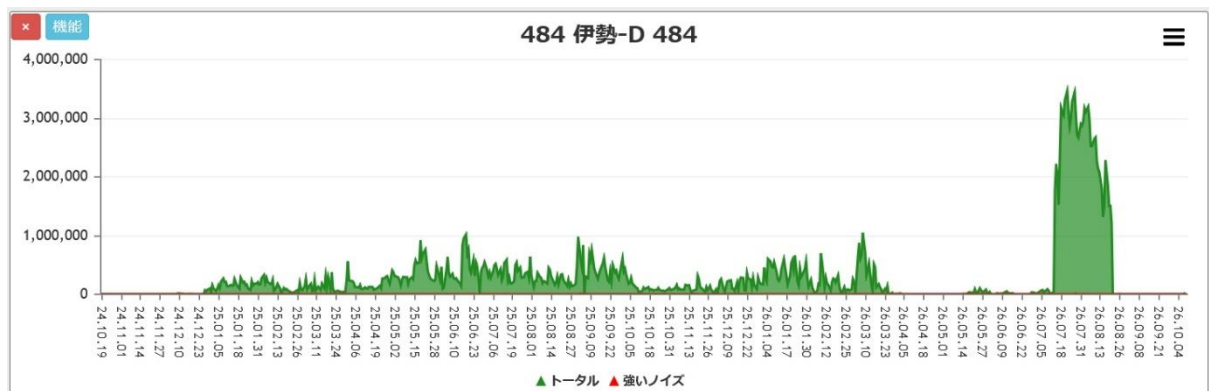
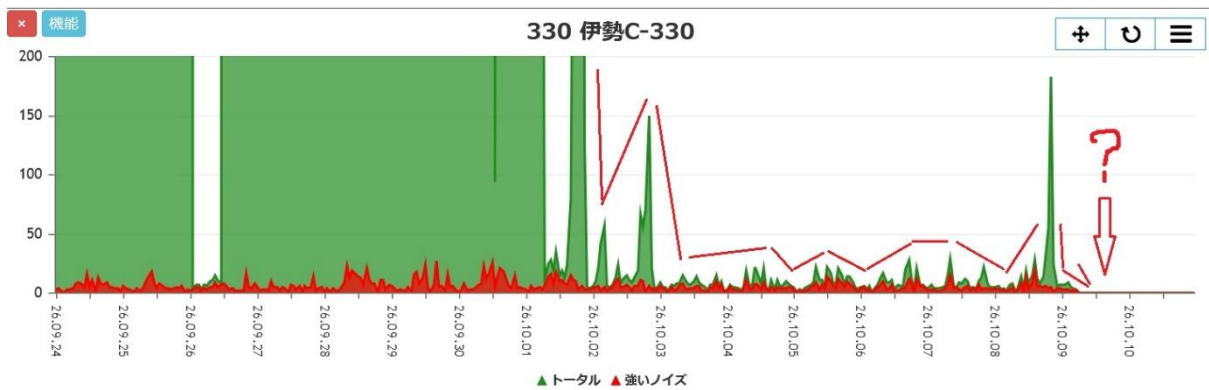
10/7（水）配信の、逆ラジオ通信 No.135 W-2601007 には

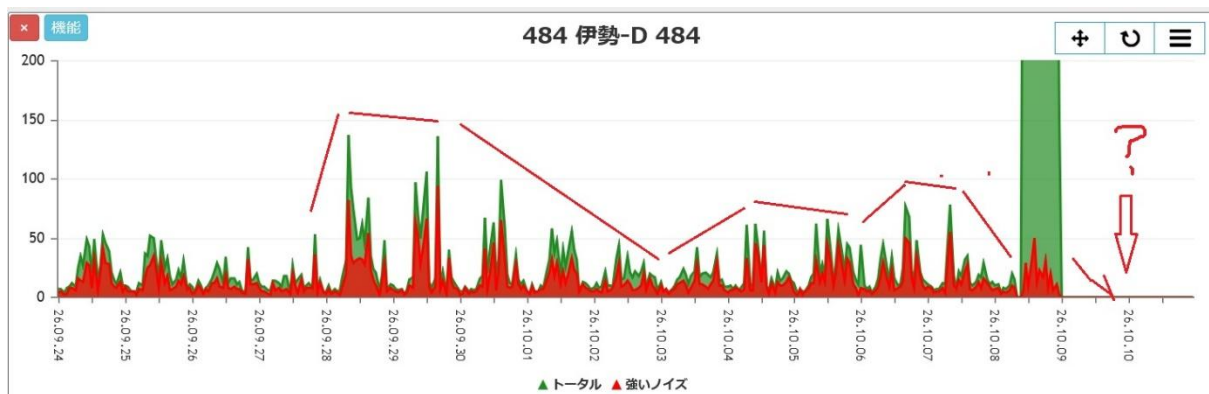
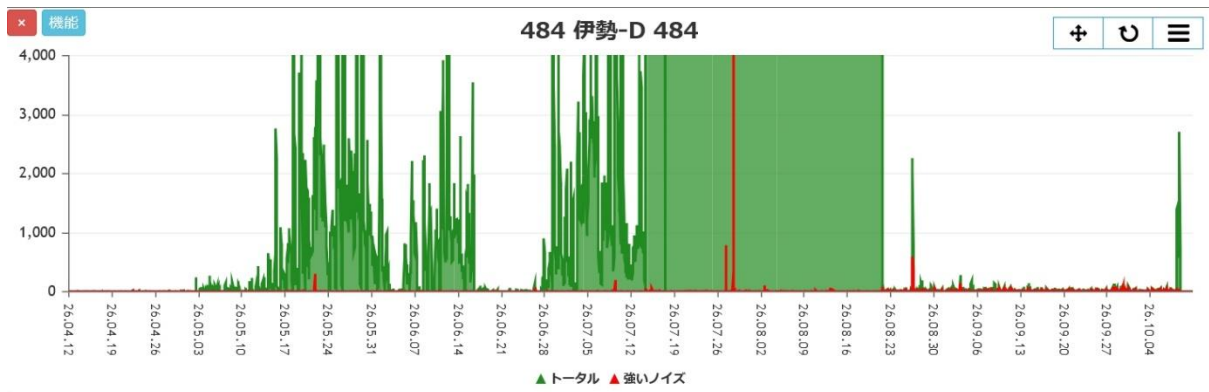
<中部、近畿地区の大地震の可能性>として 次の様に載せています。

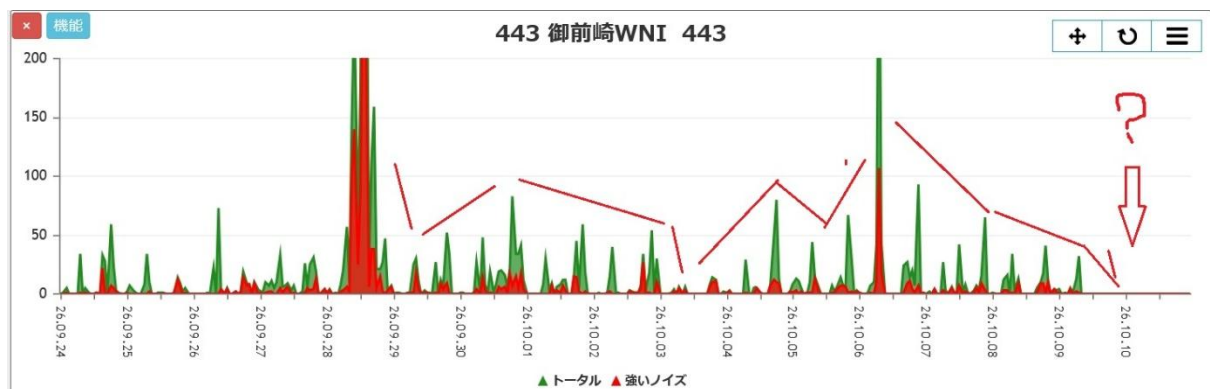
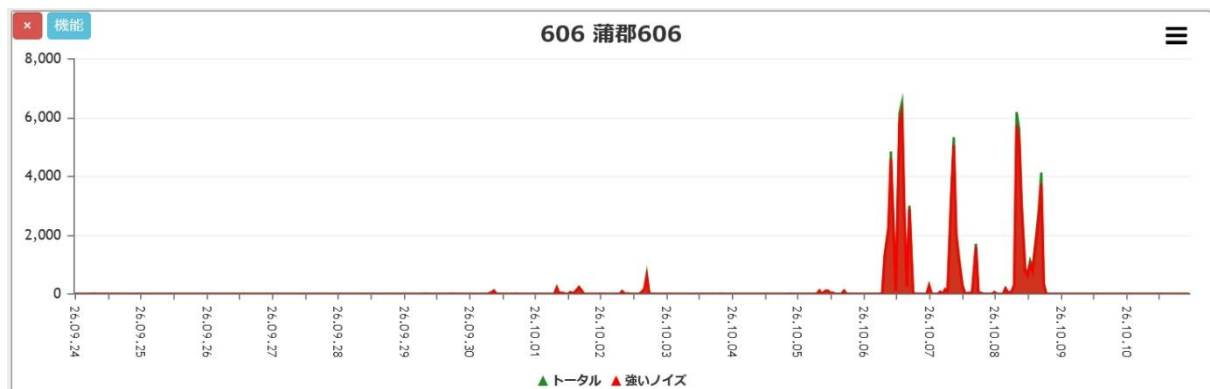
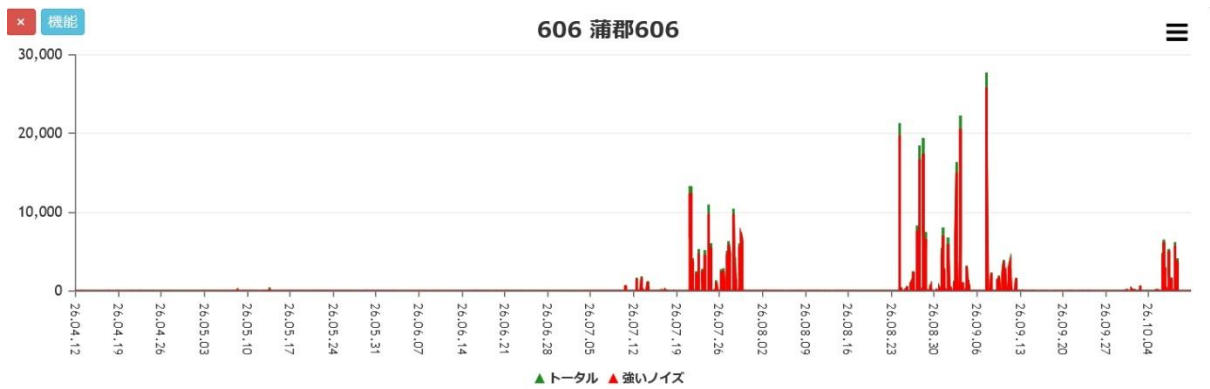
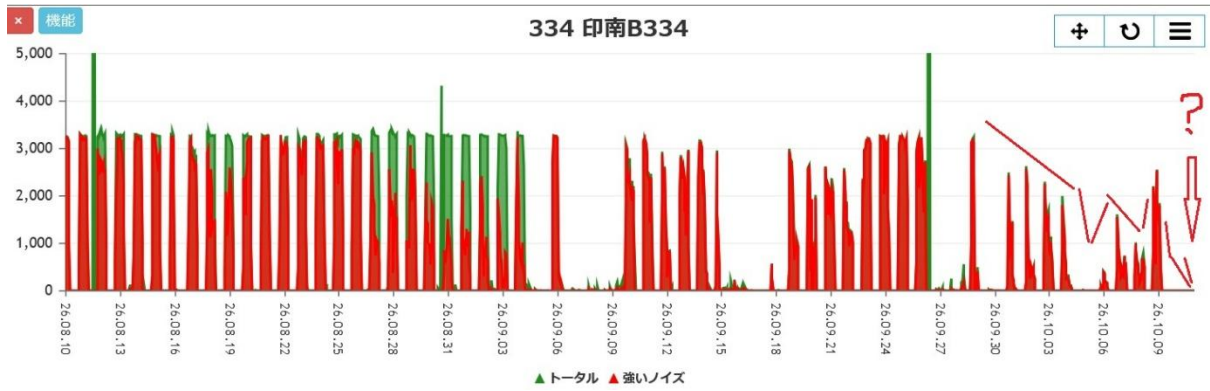
前回、前々回に引き続き 中部、近畿地区の大地震の可能性があり、【伊勢 C330】の長期大型データが 9/30 に急に減衰し、収束して 大変危険なデータです。また【伊勢 D484】の大型データは 8/21 頃に減衰し、収束が続いていて、【浜北 355】は 長期では 昨年 11 月の約 15 万をピークにして、大きく減衰してきて、一旦欠測後 8/20 に約 2 万のデータが出て、8/23 頃から減衰して今はほぼ収束状態です。さらに【豊橋 TUT】には 100 万前後の大きな一本立ちが多数出ており、【印南】も収束してきています。これらのデータから見ても中部、近畿地区の大地震の可能性が高く警戒が必要で仮に 震源が内陸の場合は、愛知、岐阜や長野などに大地震が考えられます。

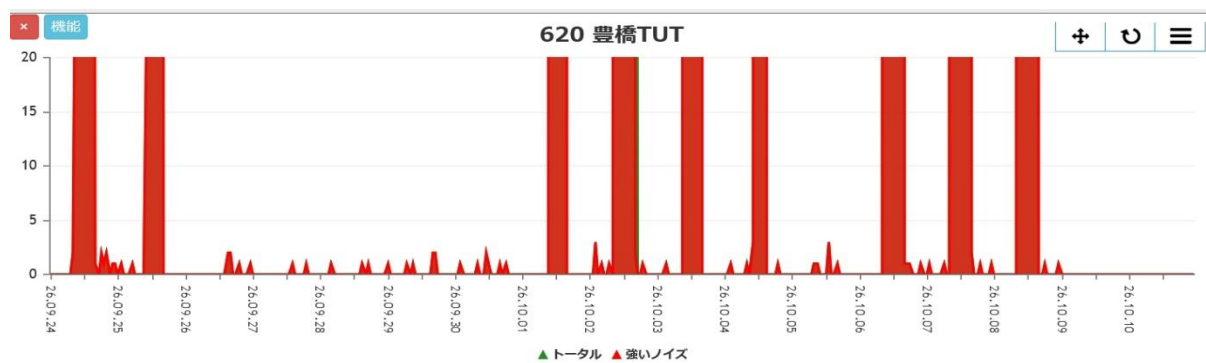
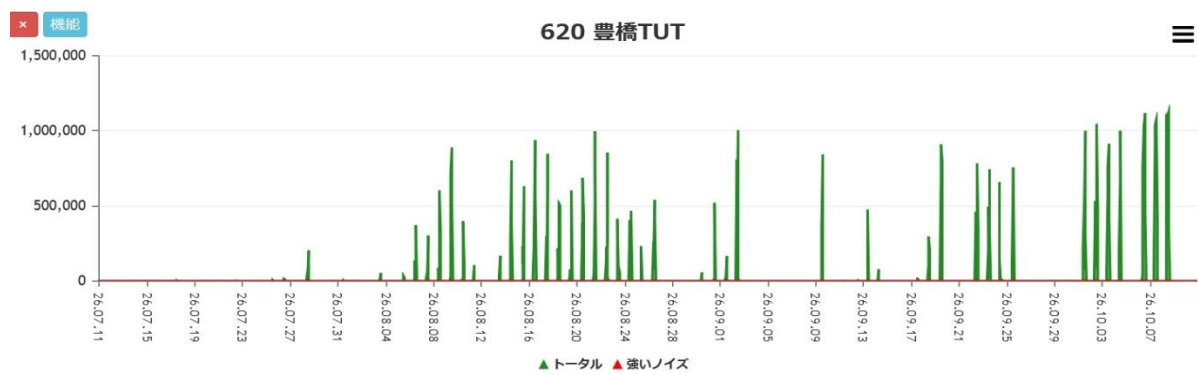
いよいよ大地震の可能性が高くなってきており、十分な警戒が必要です。











位置関係

